

ズーム・アップ・カメラ・アイズ

那覇バスターミナルも入る「カフーナ旭橋」

(沖縄県那覇市)

Consultant 会誌編集専門委員会

1914(大正3)年、軌間762mmの軽便鉄道として沖縄県営鉄道が開通するとともに、那覇駅が明治期までに埋立てられた那覇市泉崎の地に開業した。赤瓦葺き木造平屋建ての駅舎には鉄道管理所や交番が置かれていた。機関区も兼設され、転車台、機関庫、修理庫、石炭置き場等が設けられていた。

ターミナル駅となった那覇駅一帯は交通の要衝とし

て栄え、旅館や飲食店が建ち並び、久茂地川に旭橋や月見橋が架けられた。しかし、1944(昭和19)年10月10日の空襲により、賑わっていたまちも全て破壊されてしまった。

1959(昭和34)年、戦後復興により那覇駅跡地は「那覇バスターミナル」として蘇った。那覇バスターミナルは沖縄本島の主要な市町村を繋ぐ唯一の公共交通ネットワークとして、再び交通の要衝として重要な役割を担うことになったのである。4つのバス会社が乗り入れる那覇バスターミナルは、都市計画法上の都市施設かつ自動車ターミナル法上のターミナルに位置付けられている。

しかし、自家用車の普及等によるバス利用者の減少と建物の老朽化が進み、空き店舗の増加や設備の機能更新の遅れ等が目立つようになってきた。2000(平成12)年8月には地元が中心となった推進協議会が結成され、自らのまちの将来を検討し始めた。2003(平成15)年には沖縄都市モノレール(ゆいレール)が開業し、旭橋駅と那覇バスターミナルが近接するこの地区は、公共交通の要衝としての重要性がさらに高くなり、交通結節点にふさわしい高度利用と機能強化が求められるようになった。そして地権者や事業参加者が出資して、まちづくりの母体となる旭橋都市再開発株式会社が設立されたのである。会社は事業完成後に地域の管理運営組織に衣替えし、自らまちを育てていく役割を果たすとともに、社会に寄与するようなエリアマネジメントを目指すことになる。

那覇バスターミナルを含む複合施設の竣工式が2018(平成30)年9月23日にあり、那覇バスターミナルは10



写真1 戦前の那覇駅構内

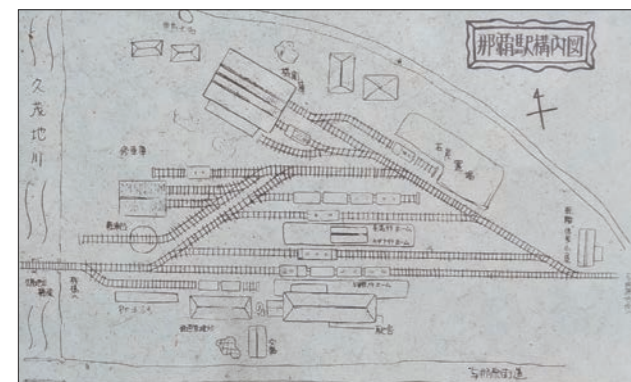


図1 戦前の那覇駅構内図(現地案内板)



写真2 旧那覇バスターミナルの全景



写真3 那覇バスターミナルビル



図2 再開発整備区域図

月1日から運用が開始された。「カフーナ旭橋」とはA～Eの5つの街区に分けて整備が進められていた複合施設の総称である。A街区は、那覇バスターミナルの老朽化によって建て替えられた施設で、那覇バスターミナルも入居し、地下がバスの駐車場、1階がバスの乗降場である。

那覇空港からゆいレールに乗って来た観光客がバスに乗り継ぐ中継地になるため、那覇の玄関口として、旭橋駅からペDESTリアンデッキで繋いだ2階にエントランスを、そしてオーパ等の商業施設を2～3階に配置している。4～6階には沖縄県立図書館やグッジョブセンター等が入居し、オフィスや駐車場等も計画された。このことで事務所、公共公益施設、商業施設等を複合させ、那覇バスターミナルを活かした交通結節点の形成を図っている。まちの再生がいよいよ始まる。

那覇バスターミナルビルの基礎工事中に、沖縄県営鉄道那覇駅跡の遺構が発見されている。それは転車台と2つの車両点検ピットと推定されるもので、2015(平成27)年度末に発掘調査が行われた。

車両の方向を変える直径約8mの転車台は赤煉瓦で造られ、中心には回転軸として使われていたらしい楕円形の石灰岩がある。また、機関車の車両点検ピットの一部分とみられる2つの遺構は、それぞれ赤煉瓦造りの横1.5m縦8mほどの長方形で、内側に作業場のようなくぼみの跡が確認された。機関庫内の車両修理施設だったようである。このうち転車台は、那覇バスターミナルビル西側のゆいレール旭橋駅へ続くデッキ脇の「交通広場」に移設展示

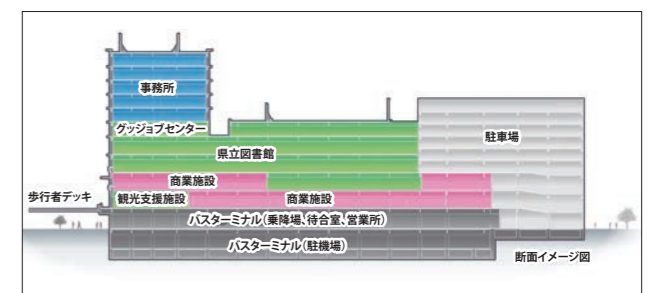


図3 那覇バスターミナルビル断面図

される予定だ。歴史を物語る遺構は、まちの再生の始まりにふさわしい展示となるであろう。(文 塚本敏行)

<取材協力>

- 1) 旭橋都市再開発株式会社

<参考資料>

- 1) パンフレット『人と街 未来の創造 モノレール旭橋駅周辺地区 第一種市街地再開発事業』旭橋都市再開発株式会社 2017.3
- 2) パンフレット『埋蔵文化財発掘調査概要 沖縄県営鉄道那覇駅跡』那覇市/旭橋都市再開発株式会社 2016.5
- 3) 「琉球新報 Style ホームページ」(<https://ryukyushimpo.jp/style/article/entry-805689.html>)

<図・写真提供>

- 図1、写真3 塚本敏行
 図2、3、写真2、5 旭橋都市再開発株式会社
 写真1 『写真集那覇百年のあゆみ』より 那覇市歴史博物館提供
 写真4 有賀圭司



写真4 那覇バスターミナルの乗り場



写真5 発見された転車台遺構